

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月24日

【評価実施概要】

事業所番号	1273300317
法人名	株式会社メデカジャパン
事業所名	四街道ケアセンターそよ風
所在地	千葉県四街道市物井字金鑄塚1596-4 (電話) 043-304-7411

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成19年11月7日	評価確定日	平成20年1月7日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 9人, 非常勤6人, 常勤換算9.6人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨S造り
	2階建ての 2階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他	食費42,000 + 水光熱費15,000 + 管理費10,000 + 実費	
敷金	有(120,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000円)	有りの場合 償却の有無	有(期間:4年)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400円			

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	4名		
要介護3	7名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.9歳	最低	74歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小林循環器クリニック
---------	------------

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは大型団地に隣接しており、自然が残されている静かな場所に位置している。一階はデイサービス、2階は事務室を挟んで2ユニットが自由に行き来できるようになっている。玄関前の花壇には季節の花が植えられており、掃除を役割としている入居者が職員と一緒に進んでいた。入居者は近隣の行事にも参加するなど地域にもとけこんでいる。介護計画書、個人記録、運営推進会議録等の記録はもとより、入居者の希望を実現するために、要望ノート、申し送り書の活用に努めている。職員は生き生きとしており意欲的である。避難訓練も定期的に行なわれている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	玄関に法人の憲章を掲げている。加えて四街道ケアセンターそよ風独自の「安全で楽しく家庭的」というスローガンを誰でも見えるところ掲げる事が望まれる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義は全職員が知っている。評価結果は閲覧して共有し、より良い支援のために具体的な改善に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議ではホームの現状報告がなされ意見交換などを行なっている。市の高齢者支援課、地域包括支援センターにも出向き、現状の報告や相談をするなど関係づくりを積極的に進めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居者の暮らしぶりは、月1回ホーム便りと一緒に報告している。家族、入居者の苦情や意見は、意見箱や運営推進会議などから吸い上げている。苦情については一過性とすることなく、原因を探り、職員とともに運営の質向上に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	社会見学、近隣の校外学習の場を年2~3回提供している。顔見知りになった子供が遊びに来るなど相互交流がされている。自治会にも加入しており夏祭りの参加も地域の一員として参加している。ボランティアの受け入れも積極的に行なっている。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人のグループ憲章をさらに具体的にした「安全で楽しく家庭的に」をホーム独自の理念として掲げている。職員も周知している。		理念はよく見えるところに掲げることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の理念は会議で読みあっている。具体的なケアについては、技術だけでなく理念の実践に向けて頻繁に話しあっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として自治会に加入しており、夏祭り等にも参加している。近隣の小学校の校外学習の場を年2回提供しており、馴染みになった小学生が遊びに来たりするなど、地域の人々とつながりながらの暮らしをしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や結果は全職員が知っており、結果を踏まえて改善の具体案の検討がされ、実践につながる取り組みがされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、市役所担当課職員、自治会長、地区住民、ホーム職員、入居者家族が参加している。話し合いの内容は、ホームの状況報告、課題、取り組みについてなどである。議事録も作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターにいろいろと相談している。併せてホームの実情やサービス内容も伝え、関係づくりをしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の状況は、月に1回家族へ連絡をしている。変化があった場合には電話にてその都度連絡し、相談している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設け、家族や入居者の意見等が伝えられるように配慮している。苦情は、問題の原因を探り、ミーティングで検討を行い、質の向上を目指している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員の交代は入居者に説明をしている。信頼関係が継続できるように入居者には複数の職員で関わっており、業務引継ぎ書が使われている。離職した職員がボランティアとして訪問する事もある。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修にはセンター長、職員ともに積極的である。月1回、事例検討の勉強会も開催している。研修内容は誰でも閲覧も出来るようにしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入しており、また地域の認知症通所施設への訪問などをして情報交換をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>デイサービスを利用し、徐々に馴染めるよう配慮している。職員が自宅訪問するなど、安心して利用の開始ができるよう、相談しながら進めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、入居者から調理の方法を教えてもらったり、力のある方には荷物を運んでもらうなど、日常的に支えあった生活が出来る。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入所時、家族へセンター方式のアセスメントシートに生活歴を記入してもらっている。要望ノートに入居者一人ひとりの言葉や表情、行動から気持ちを汲み取り、こまめに書きこみ把握に努めている。業務開始前に確認し、職員全員が共有している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃から入居者、家族と話しあいをもつこと、意見を聞くことに努めている。アセスメント、モニタリング、ミーティングを職員全員で行なっている。それらに基づき、介護計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の状態に即し、家族、職員全員と検討し、見直しをしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイサービスと一緒に敬老会への参加、ボランティアの余興を楽しまれたりしている。デイを利用されているお友達とお話するのを楽しみされている入居者もいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者、家族の希望のかかりつけ医の受診や通院の支援をしている。かかりつけ医とは連携し、受診や通院は希望に応じている。情報はその都度共有している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、家族、関係者との話し合いを頻繁に行なっている。事業所として対応できる限界も踏まえた上、方針については十分に話し合いがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりに丁寧な言葉かけや自然で穏やかな態度で対応をされていた。日常的にプライバシー尊重について話し合われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな一日の流れはあるが、一人ひとりのその日の状態を把握し、職員全員が共有し、入居者のペースにそった支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は本部の管理栄養士が作成している。職員と一緒に調理、配膳、食事、後片付けが自然に行なわれていた。誕生会などは好みの食事を相談しながら作り楽しませている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日午後2時ごろより用意している。ほぼ一日おきに入れるよう支援しているが、希望があれば毎日入れる。入浴剤や菖蒲湯、ゆず湯など楽しめるような工夫をしている。デイサービスの大きなお風呂を楽しみにされる入居者もいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を把握している。それぞれ役割、や達成感もてる支援をしている。布巾、雑巾を縫う、荷物を運ぶ、結わえる、車椅子の空気入れる、外を掃く等日常的におこなわれている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎月イベントの参加などへ外出している。希望された床屋、美容院、散歩などの支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニットの入り口の鍵は日中開けてあり自由に行き来できる。玄関は構造上施鍵の必要がある。入居者の要望に沿い、外へ出る支援をしている。		建物の構造上、出入り口が危険なため鍵をかけておくことはやむを得ないと思われるが、工夫が望まれる。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署立会いのもと避難訓練をおこなっている。救命救急の講習に参加。緊急マニュアルがある。		避難訓練には、近隣住民へも参加の働きかけを期待したい。救命救急の講習を職員全員が受けられることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタル、食事摂取量、服薬、就寝、夜間水分、水分総量、排便を一覧できるチェック表に記入し、一人ひとりの状態を把握している。栄養バランスのとれた献立を管理栄養士がたてている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、居間に手作りの季節にあった飾りがされていた。台所は流しが低めで使いやすく生活感があった。居間の広い窓から日がさし暖かく、雑木林が眺められ落ち着いた雰囲気がした。トイレ、風呂などわかりやすく表示されていた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入り口に表札が見やすい大きな字で書かれていた。入居者の馴染まれたたんす、いすなどの家具が置かれ、落ち着いた雰囲気がした。		